

事例2 産業廃棄物関連 トラックスケールシステム

適切な器物選定でオペレーション向上！！

| | |
|--------|--|
| 導入前の課題 | 産業廃棄物の運搬・中間処理を行っているが、受け入れ数が増加し、既存のフロアスケールでは対応しきれず、また使用方法も面倒な作業の一因となっていた。 |
| 導入後の内容 | 屋外常設のトラックスケールを導入したことにより、そもそものオペレーション方法が改善。計量に関わる業務に割く人員が減った。 |

「一計量」に「三人工」、作業中の計量にイライラ

Before

近年、産業廃棄物の受入数が増加し始め、計量に割かれる人員と頻度に現場作業員はイライラしていた。リサイクル品も多く扱う工場だった為、分別・整理整頓、処理作業で常に作業員が動いている中、計量作業の為に途中で手を止め、「計量」「記入」「受入」をしなければならず大変だった。

←『コレ』で解決！！



『指示計別：PC計量システム』
製造：株式会社田中衡機工業所
最新の機種はカラー液晶タッチパネルだけではなく、Bluetooth通信などのオプション機能も多数

After

持込ドライバーと事務所職員に任せきり

持込のトラックを見るたびにイライラしていた作業員も、トラックスケールと計量システムを導入したことにより、その対応から解放され其々の業務に集中する事が出来、そもそも受入増加に合わせて工場内作業員の人数を増やそうと考えていた経営者も既存の人員で処理量が増えた事に喜びを隠せなかった。

どうしても計量に人員が割かれしまうと考えていたが、現状は持込のドライバーと事務所の職員とのやり取りで解決してしまう。事務所職員にしても、常にトラックスケールを監視し、対応しなければならないと思っていたが、進入してきたトラックに対してPC計量システムが重量を感知したタイミング音声アナウンスを行う。これにより職員は平日頃からトラックスケールやPCを監視しなければという意識から解放され、事務所内業務や来客対応に集中する事が出来た。

今回、導入して頂いたトラックスケールは、基礎を埋設型にする事により構内のスペースを無駄に占有する事なく、構内敷地を最大限に活用する事が出来る。これにより今後受入量が更に増えてきても、困る事はないだろう。

